

平成14年度教育行政執行方針



とともに、行政・地域・企業などの連携・協力を努めてまいります。

◎また、市民一人ひとりの学習を支援するため作成する、「生涯学習人材バンクハンドブック」については、その有効活用に努めてまいります。

老人大学および婦人短期大学については、学び得た知識や豊かな体験が地域や世代間交流などで生かされていることから、今後とも、学習者のニーズを適確に把握し、その充実を図ってまいります。

**家庭教育**

◎家庭教育についてはありますが、家庭での教育は、基本的な生活習慣や生活能力、自制心や自立心、豊かな情操、他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観、社会的マナーなどの基礎をはぐくむものであり、学校や地域社会での活動にも影響を与えるすべての教育の出発点であります。

このことから、「家庭教育手帳」や「家庭教育ノート」、「家庭教育ビデオ」の啓発資料を有効に活用し、積極的に家庭における教育力の充実を図ってまいります。

**青少年教育**

◎青少年教育については、青少年が明るく健やかに育つためには、青少年の成長過程に応じて、家庭・学校・地域社会がそれぞれの教育機能を発揮し、相互の連携を深めながら一体となった

取り組みが必要でありますので、文化

・スポーツなど多様な体験活動やボランティア活動などを中心とした社会参加活動などの学習機会の拡充に努めるとともに、家庭・学校・地域社会・関係機関などの連携を一層密にし、適切な情報交流を図り、適時・適切な対策を講じ、青少年の健全育成に努めてまいります。

◎図書館については、これまで取り組んできたコンピュータによる**図書館システム**が確立いたしましたので、今後は貸し出し、返却などについて迅速に対応してまいります。

また、インターネットによる情報提供についても積極的に取り組んでまいります。

**社会教育施設**

◎社会教育施設については、ネイチャーセンターは、これまで市民や議会、専門的な立場のかたがたの意見をお聞



▲郷土資料館と文化伝承館

きしながら、「子ども自然教室」や

「自然観察会」などさまざまな体験プログラムを作成し、開設に向けた準備に取り組んでまいりました。

4月からは、指導にあたる専門員や専任の職員を配置し、当該施設が有効に利用されるよう努めてまいります。

◎文化・スポーツの振興については、登別市文化・スポーツ振興財団や文化協会、体育協会をはじめ、関係団体との連携を深め、市民に親しまれる事業を実施して、地域文化の振興とスポーツの振興に努めてまいります。

**市民プールの建て替え**

◎市民プールの建て替えについては、「新市民プール建設検討委員会」やアンケート調査の結果を基に、健康づくりやリラクゼーションといった複合的



▲千歳町の『ふるさと農園』で幌別中学校区「子ども地域交流プラザ」運営委員会主催による『どろんこまつり』



▲48人の子どもたちが参加した『少年水泳教室』

な機能を有し、幼児から高齢者、障害をもつ方までの幅広いニーズに対応した機能を備えた施設となるよう調査研究を進めてまいりましたが、さらに、幅広い意見をお聞きして計画を取りまとめまいります。